

令和5年6月11日18時55分頃の浦河沖の地震について

令和5年6月11日18時55分頃に発生した浦河沖を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

震度5弱を観測

震度5弱 北海道

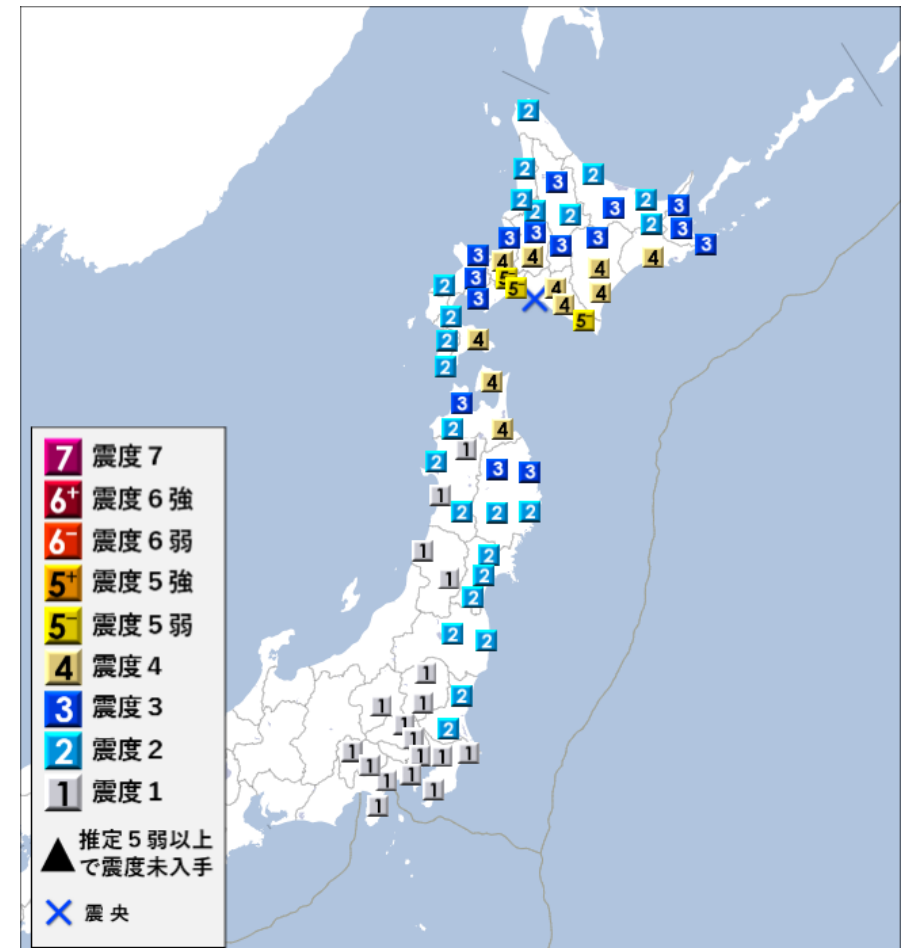
(揺れの強かった地域)

落石や崖崩れなどに注意

※1週間程度(特に今後2～3日の間)

最大震度5弱程度の地震に注意

6月11日18時59分発表



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	6月11日18時55分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	6月11日18時54分
マグニチュード	6.2(暫定値)
場所及び深さ	浦河沖 深さ 136km(暫定値;速報値 深さ約140kmから更新)
発震機構	北北西—南南東方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内で発生した地震
震度	【最大震度5弱】北海道の千歳市(ちとせし)・厚真町(あつまちょう)・浦河町(うらかわちょう)の合計3つの市町村で震度5弱を観測したほか、北海道から東海地方にかけて震度4～1を観測
地震活動の状況 11日20時15分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震の発生なし
長周期地震動の観測状況	石狩地方南部、後志地方東部、胆振地方中東部、日高地方中部、十勝地方中部で長周期地震動階級1を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

この地震による津波の心配はありません。

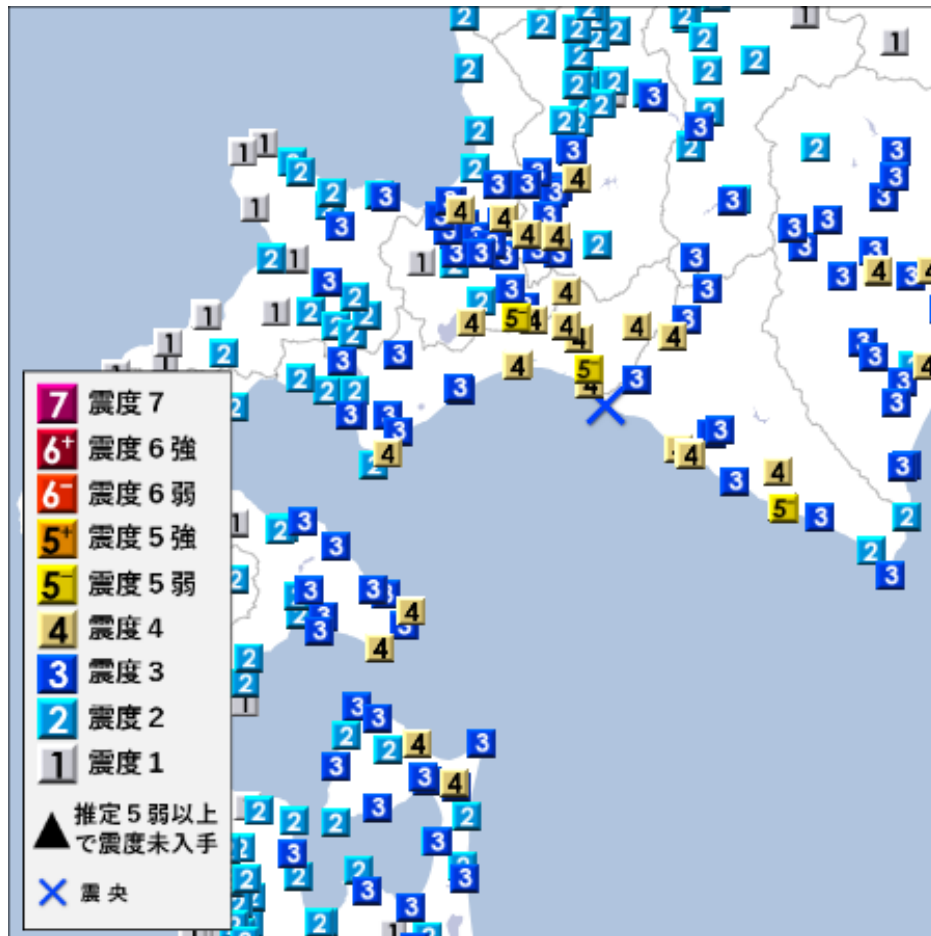
揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。

(今後の見通し)

過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

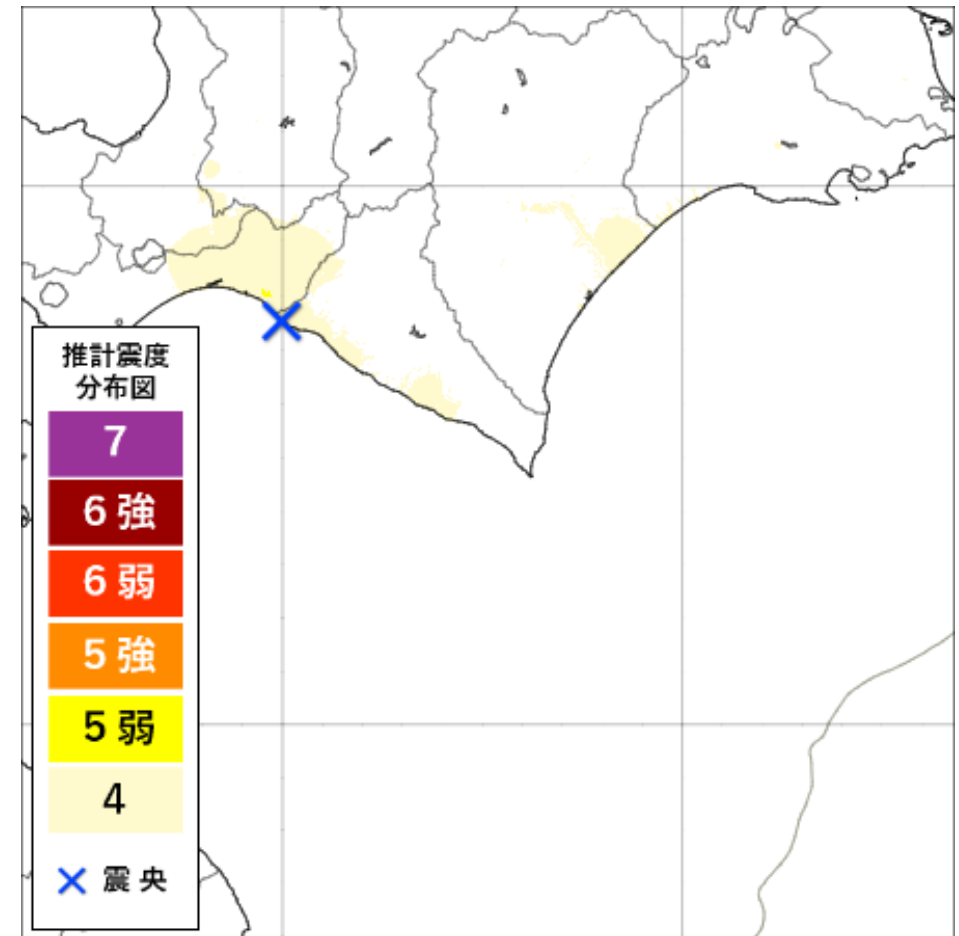
震度分布図・推計震度分布図

【各観測点の震度】



6月11日18時59分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

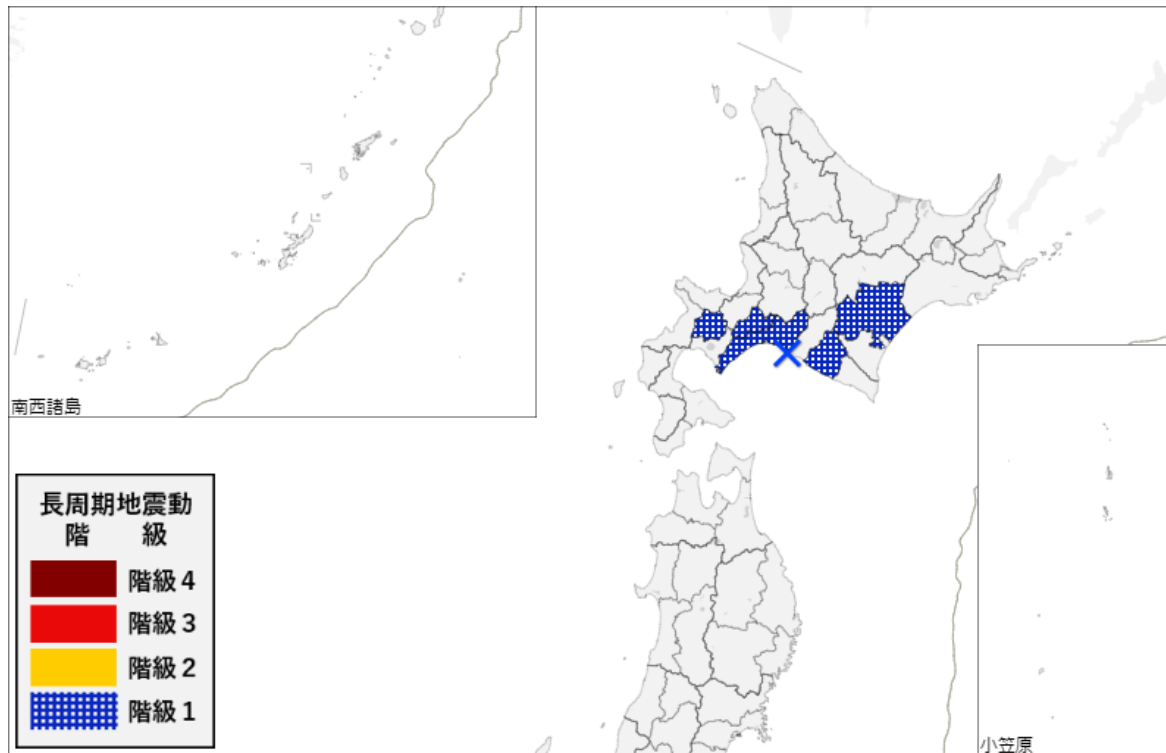
地震情報:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

推計震度分布図:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

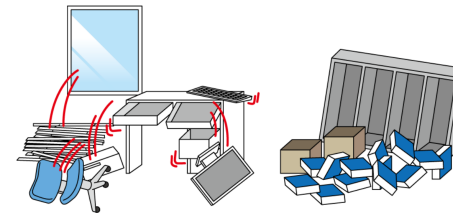
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称				
階級1	石狩地方南部	後志地方東部	胆振地方中東部	日高地方中部	十勝地方中部

6月11日19時04分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

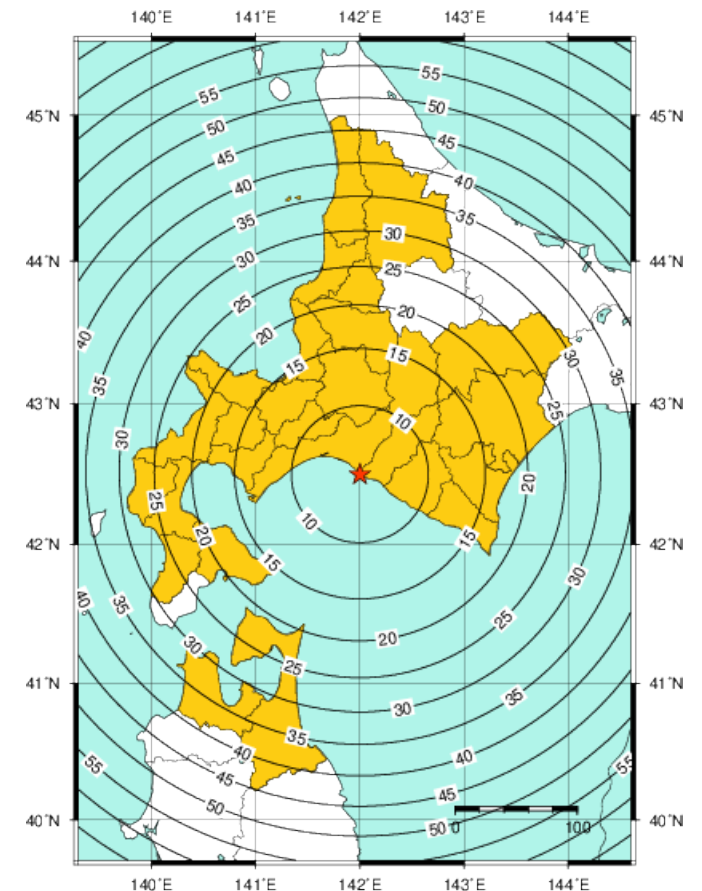
長周期地震動に関する観測情報:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素					予測した 震度と階級
地震波 検知時刻	18時55分3.3秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第5報	18時55分08.8秒	5.5	苫小牧沖	42.6	141.8	150km	6.3	※5
※5	震度5弱程度	胆振地方中東部、石狩地方中部						
	震度4程度	石狩地方南部、日高地方西部、空知地方南部、日高地方中部、胆振地方西部、石狩地方北部、後志地方東部、後志地方北部、日高地方東部、渡島地方東部、上川地方南部、十勝地方北部、後志地方西部、渡島地方北部、十勝地方南部、空知地方北部、留萌地方南部、檜山地方、十勝地方中部、青森県下北、上川地方北部、青森県津軽北部、青森県三八上北						
	震度3から4程度	空知地方中部、留萌地方中北部						

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



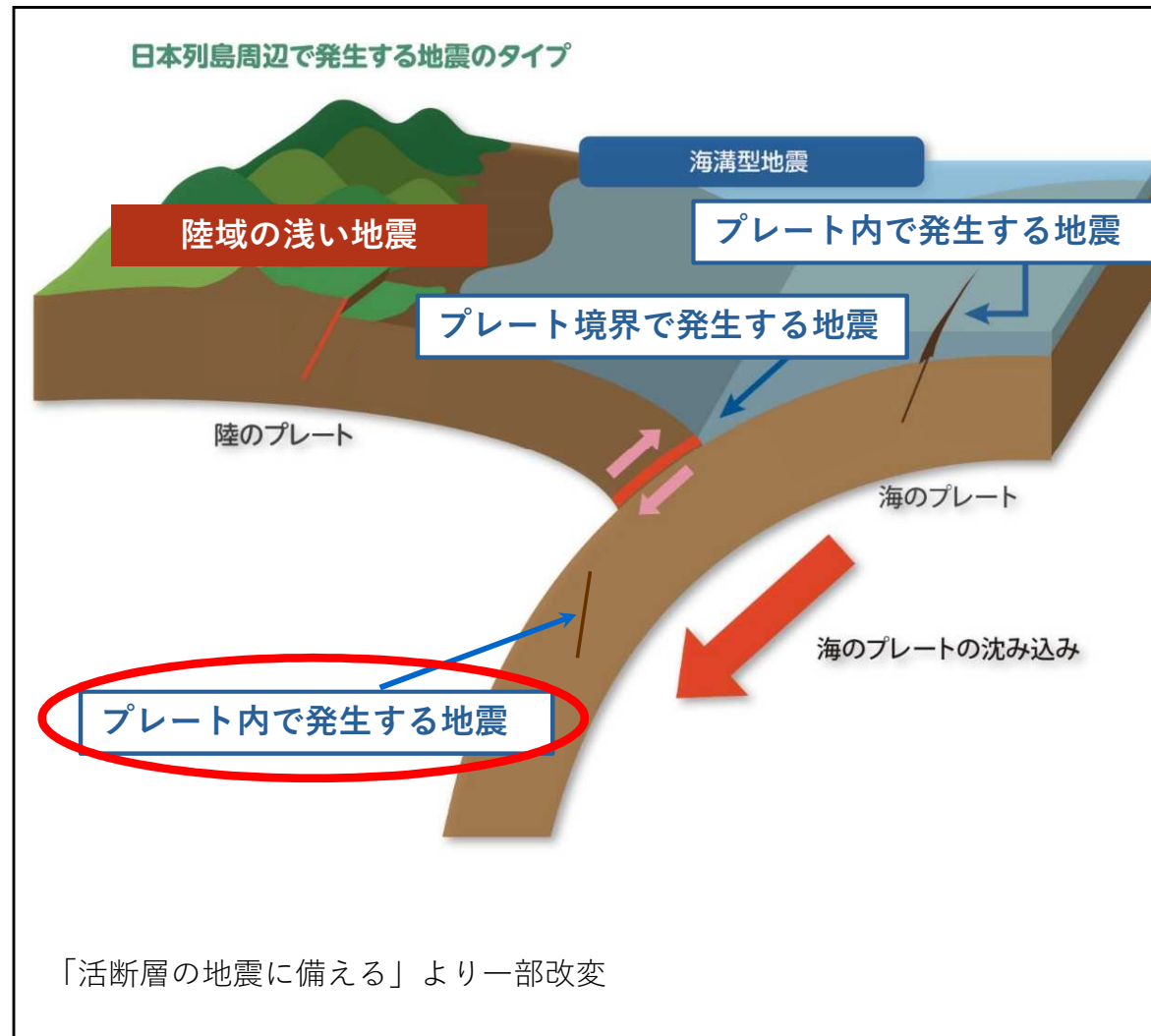
緊急地震速報（警報）を発表した地域 ★ 震源

発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

地震の発生メカニズム

今回の地震は、太平洋プレート内で発生した地震



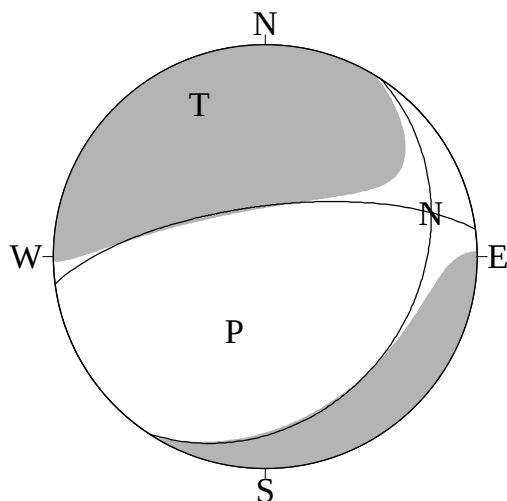
発震機構解

06111854

北北西－南南東方向に張力軸を持つ型

[CMT解(速報)]

Mw=6.2



下半球等積投影法で描画

P：圧力軸の方向

T：張力軸の方向

セントロイドの位置

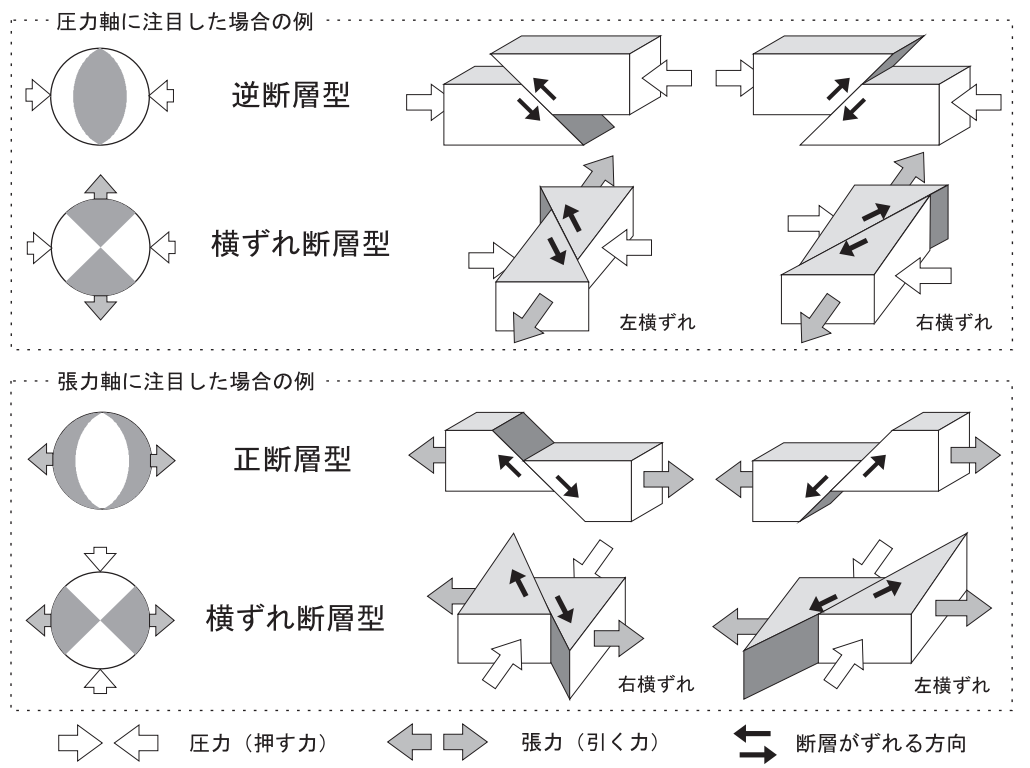
北緯 42度40分

東経 141度55分

深さ 約125km

※セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を1点で
代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について



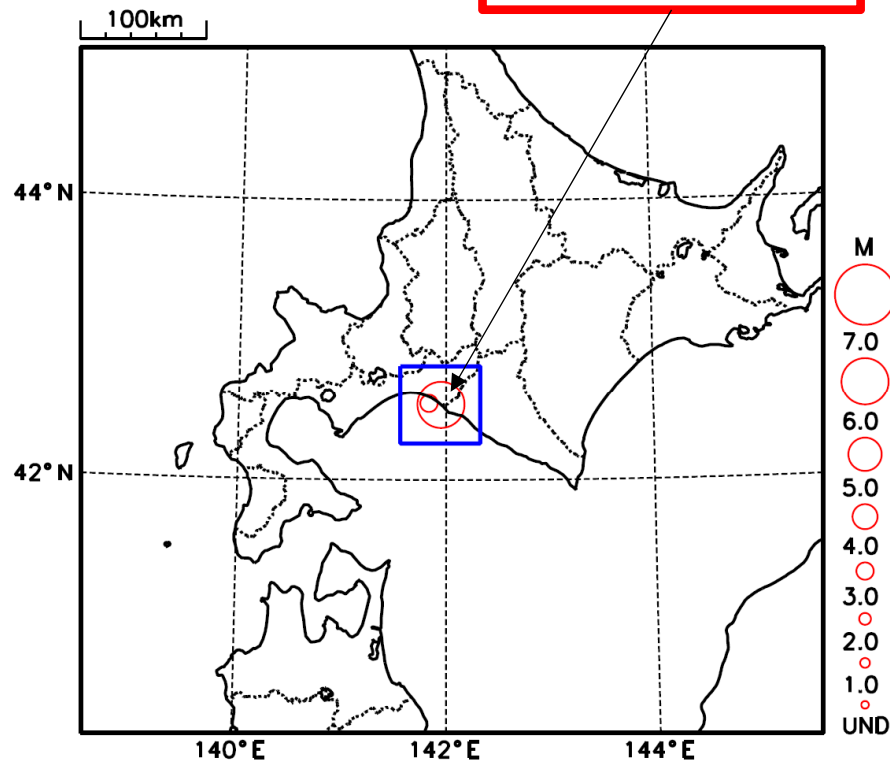
気象庁作成

今回の地震活動

震央分布図

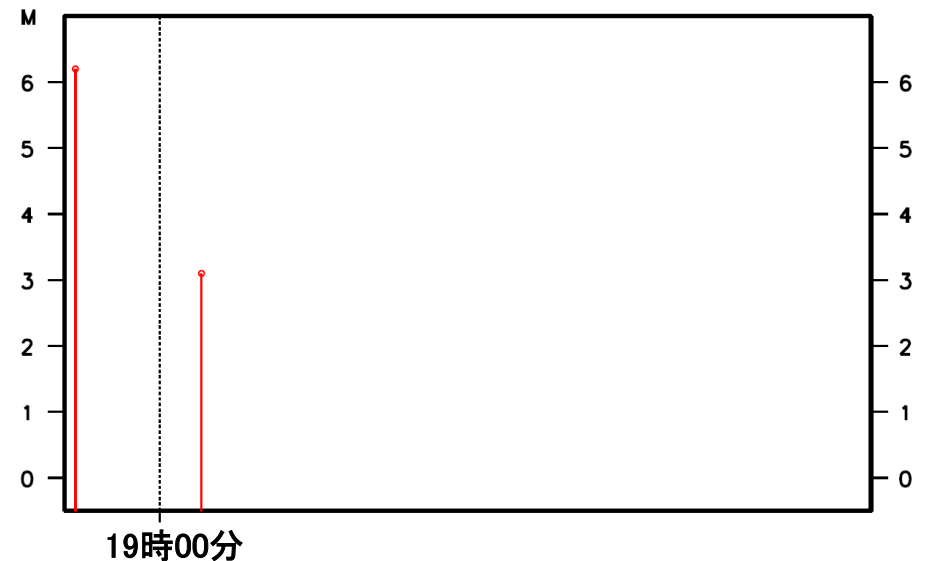
(2023年6月11日18時54分～19時50分、 $M \geq 0.0$ 、深さ0～200km)

今回の地震
6月11日18時54分
M6.2、最大震度5弱



震央分布図中の黒色の実線は、海溝軸を示す

震央分布図の青色矩形内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード。縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

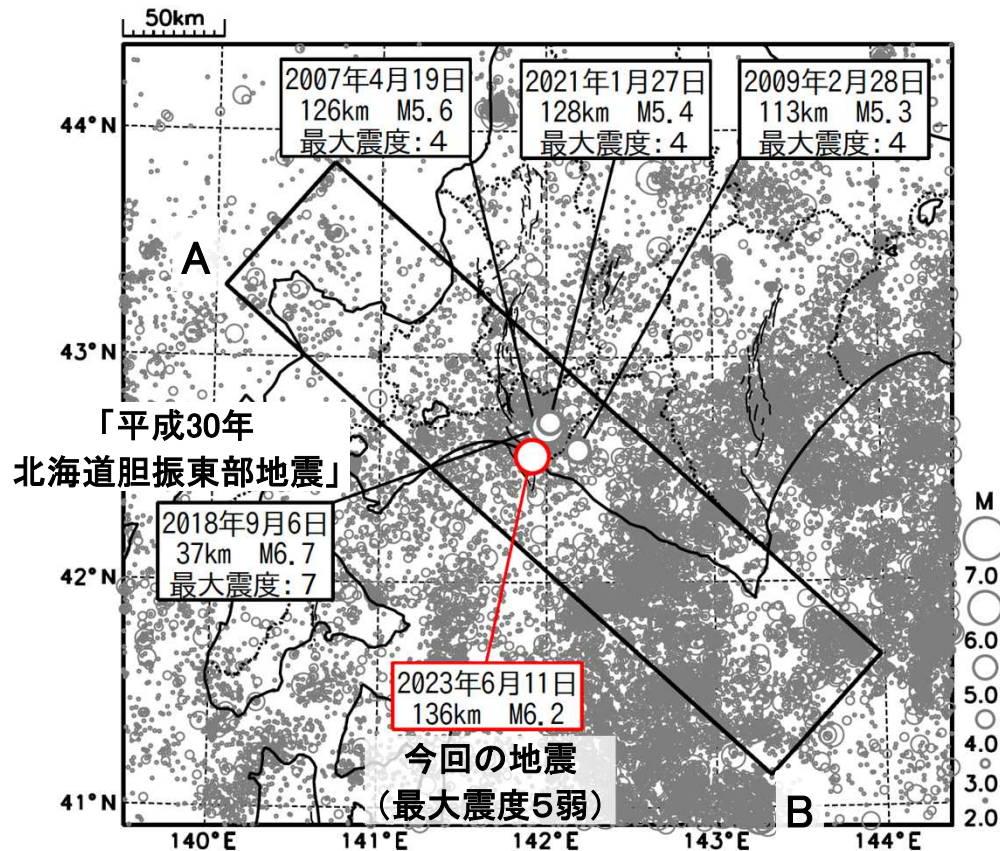
<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

令和5年6月11日 浦河沖の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

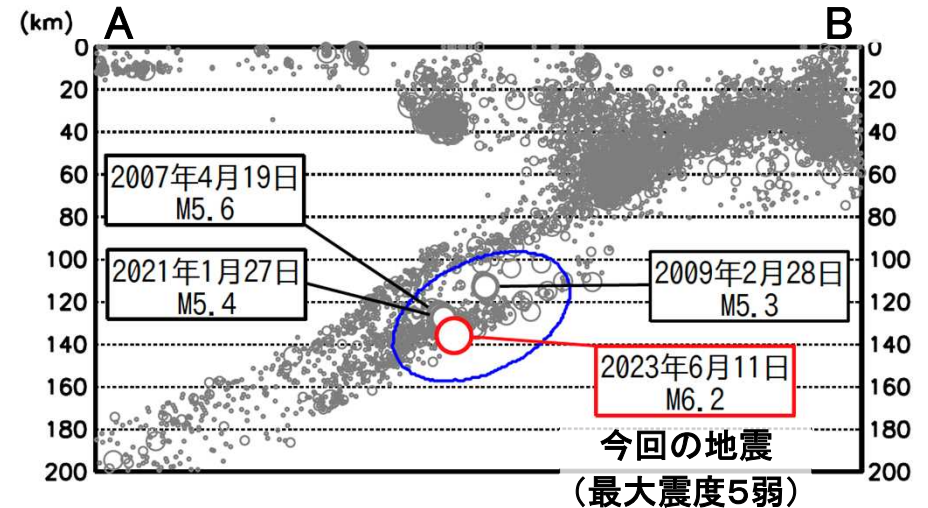
(1997年10月1日～2023年6月11日18時54分、
深さ0～200km、M2.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

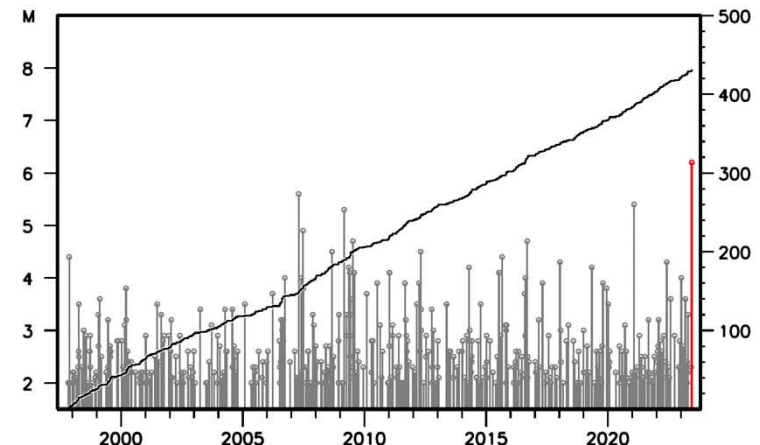
2023年6月11日以降の地震を赤く表示

左図の四角形領域内のA-B断面図



縦軸は深さを表し、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

上図の楕円領域内の地震活動経過
および回数積算図

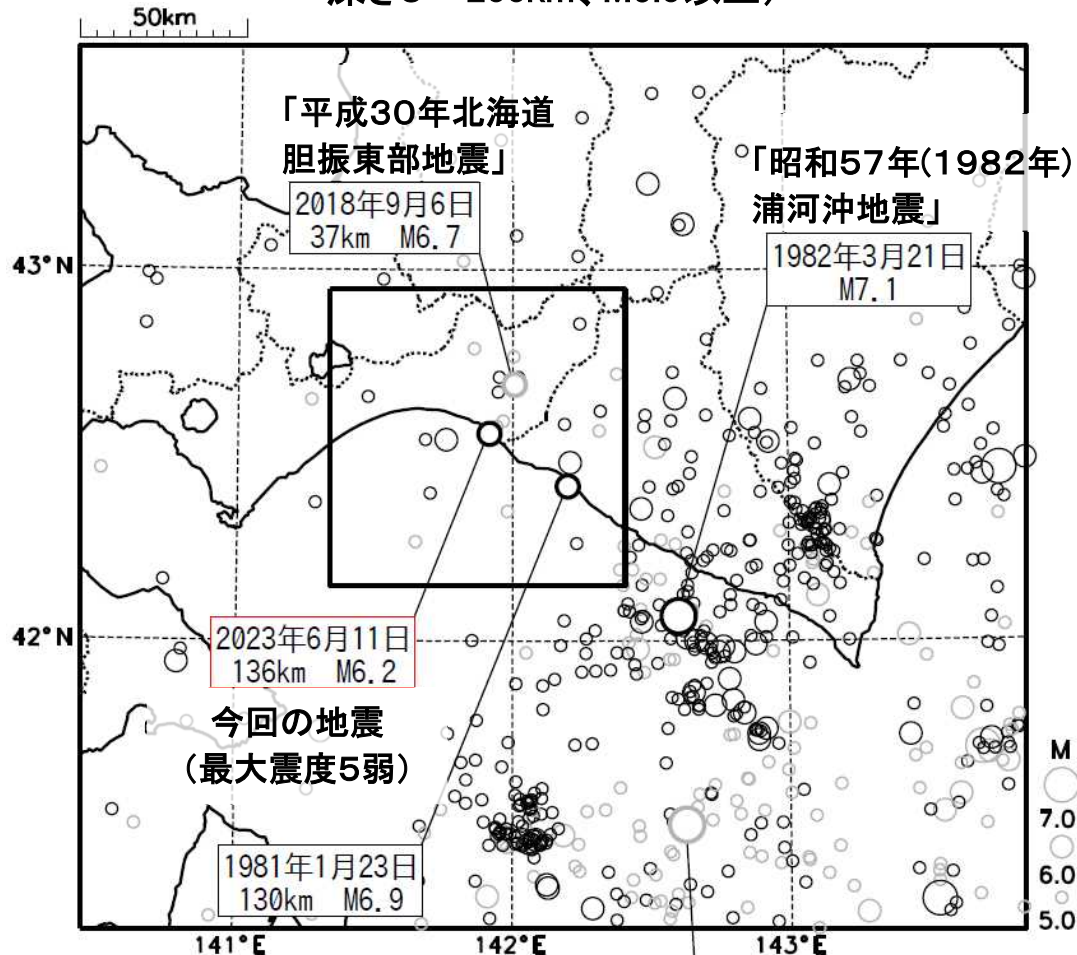


横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

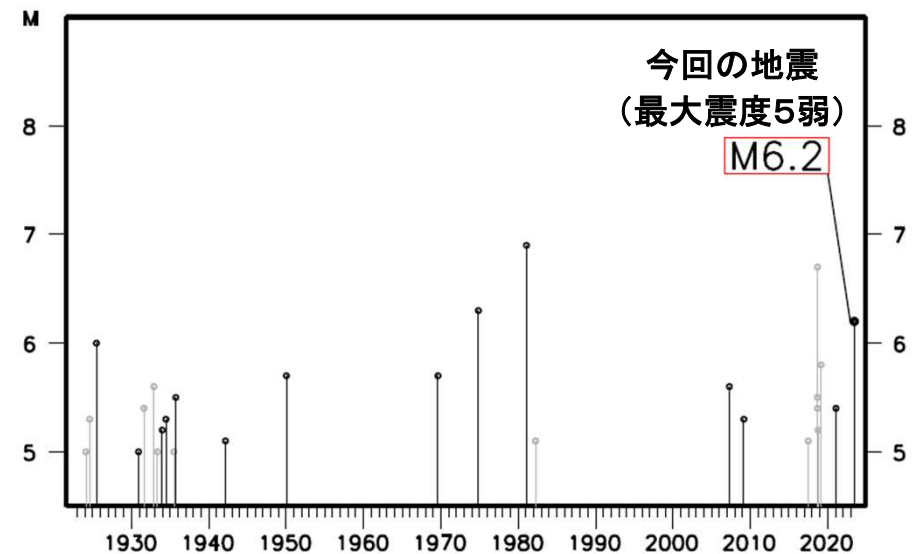
(1919年1月1日～2023年6月11日18時55分、
深さ0～200km、M5.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
深さ40km以深の地震を濃い丸で表す。

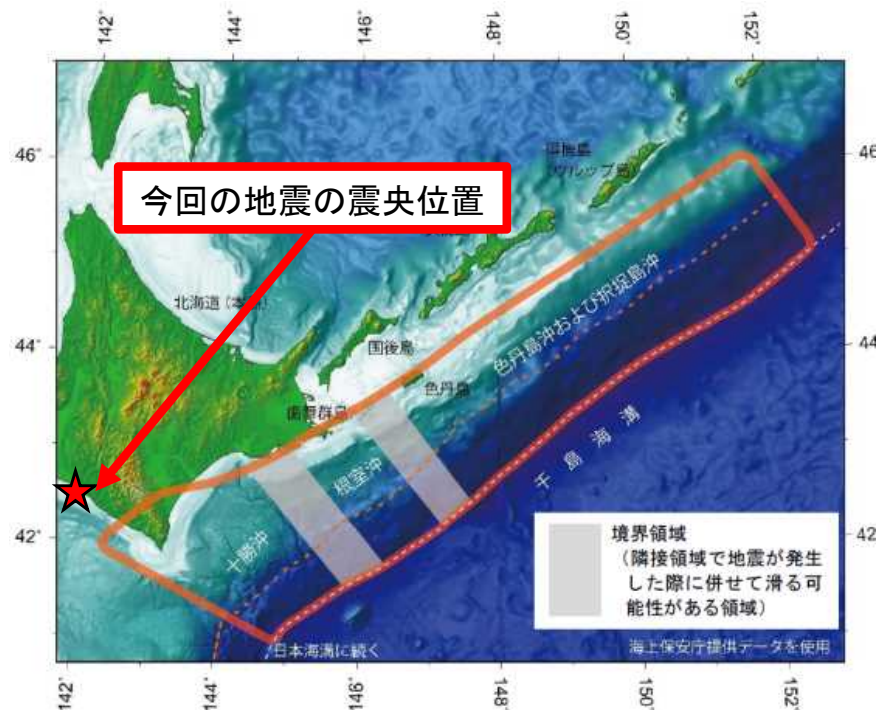
「1968年十勝沖地震」
の最大余震

左図の四角形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。深さ40km以深の地震を濃い丸で表す。

●千島海溝沿いの海溝型地震の想定領域(注1)



赤枠はプレート間地震に関する評価対象領域で、プレート内地震は赤枠外で発生した地震も評価対象。赤い点線は、海溝寄りの領域を分ける線。

●海溝型地震の長期評価の概要(千島海溝沿い)(注1)

評価対象地震	発生領域	規模	ランク(注2)	平均発生間隔
超巨大地震 (17世紀型)	十勝沖から択捉島沖 (根室沖を含む可能性高い)	M8.8程度以上	Ⅲ * ランク	約340年～380年
プレート間 巨大地震	十勝沖	M8.0～8.6程度	Ⅱ ランク	80.3年
	根室沖	M7.8～8.5程度	Ⅲ * ランク	65.1年
	色丹島沖及び択捉島沖	M7.7～8.5前後	Ⅲ ランク	35.5年
ひとまわり小さい プレート間地震	十勝沖・根室沖	M7.0～7.5程度	Ⅲ ランク	20.5年
	色丹島沖及び択捉島沖	M7.5程度	Ⅲ ランク	13.7年
海溝寄りの プレート間地震 (津波地震等)	十勝沖から択捉島沖の海溝寄り	Mt8.0程度	Ⅲ ランク	39.0年
沈み込んだ プレート内の地震	やや浅い領域	M8.4前後	Ⅲ ランク	88.9年
	やや深い領域	M7.8程度	Ⅲ ランク	39.0年
海溝軸外側の地震	千島海溝の海溝軸外側	M8.2前後	Xランク(注3)	—

●海域で発生した規模の大きな地震後に見られた地震活動の例

過去には、2008年の茨城県沖の地震のように、大きな地震の発生後、より大きな地震が発生し、当初の活動域が広がった例もあります。しかし、2004年の釧路沖の地震のように、より大きな地震は発生せず、地震活動域が広がらなかった例もあります。

(注1) 2017年12月19日公表の「千島海溝沿いの地震活動の長期評価(第三版)」より引用。

(注2) 海溝型地震における今後30年以内の地震発生確率が26%以上を「Ⅲランク」、3%～26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明(すぐに地震が起きることを否定できない)を「Xランク」と表記している。ランクに「*」を付記している場合は、地震後経過率が0.7以上を表す。

(注3) 海溝軸外側の地震については、過去に発生した履歴が無く、確率は不明である。しかし、評価対象領域の北東側では2007年にM8.2(Mw8.1)が、隣接する日本海溝沿いの領域では1933年にM8.1(Mw8.4)の地震(昭和三陸地震)が発生しているため、同様の規模の地震が千島海溝でも発生する可能性がある。

※本資料は以下を基に作成した。

「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(地震調査研究推進本部) <https://www.jishin.go.jp/main/choukihyoka/ichiran.pdf>

「千島海溝沿いの地震活動の長期評価(第三版)」(地震調査研究推進本部) https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/chishima3.pdf

発表した情報などについて

- 津波警報等の発表状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 地震から身を守るために
https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報Twitter
https://twitter.com/JMA_bousai

